

114  
A5205  
1

### 國家學會規則

#### 第一章 名稱

第一條 本會ヲ名ケテ國家學會ト稱ス

#### 第二章 目的

第二條 本會ノ目的ハ憲法、行政、法律、財政、經濟、外交、統計等國家學ニ屬スル諸學科ノ理論及ヒ應用ヲ講究スルニアリ

#### 第三章 會員

第三條 本會々員ハ左ノ三種ノ者ニ限ル

第一 法科大學教授卒業生及ヒ學生

第二 外國ノ大學ニ於テ國家學ニ屬スル學科ヲ研修シ卒業證書ヲ得タルモノ

第三 國家學ニ屬スル學科ヲ修メ若クハ之ニ關スル實歴アルモノ

第四條 第二章ノ目的ヲ達センカ爲メ本會ハ講義討論ヲナシ又雜誌ヲ發行スベシ

第五條 雜誌ハ國家學ニ關スル論說記事及ヒ本會報告ヲ掲載シ之ヲ會員ニ頒布シテ世ニ公ニス

第六條 本會會員ニ非スト雖モ尙モ國家學ニ關スル卓說ヲ有スルモノハ或ハ客員トシテ講義ヲナサシメ或ハ其寄稿ヲ本會雜誌ニ登錄スルコトアルヘシ

#### 第五章 會期

第七條 通常會ハ七八九ノ三月ヲ除キ一月及ヒ四月ハ十三日ニ其他ノ月ハ五日ニ之ヲ開キ講義若クハ討論ヲナスモノトス

但シ便宜ニヨリ會日ヲ變更スルコトヲ得

第八條 毎年春期會員懇親ノ宴會ヲ開クモノトス

第九條 必要アルキハ臨時會ヲ開クコトアルベシ

#### 第六章 會場

第十條 本會ノ事務所ハ之本郷六丁目五番地ニ置ク

第十一條 會場ハ其都度幹事ノ之ヲ定ム

第十二條 本會々員ハ評議員若干名(無定員)幹事三名及ヒ雜誌委員十名トシ其任期ハ何レモ一ケ年トス

第十三條 評議員ハ本會一切ノ大事ニ參與ス

第十四條 幹事ハ本會一切ノ庶務ヲ整理シ内一名ヲ以テ會計主任トシ幹事必要ト認ムルキハ其意見ヲ以テ臨時會ヲ開クコトヲ得

第十五條 雜誌委員ハ雜誌編纂發行ノ事ヲ管理シ其中一八ヲ以テ其主任トス

第十六條 雜誌主任及ヒ會計主任ハ筆生及ヒ仕丁ヲ雇使スルコトヲ得

第十七條 評議員及ヒ幹事ハ會員ノ投票ヲ以テ之ヲ撰

任ス

第十八條 雜誌委員ハ預メ候補者ヲ定メ評議員及ヒ幹事會員ニ代テ之ヲ撰任ス

#### 第八章 會費

第十九條 本會ノ年度ハ十月一日ニ始マリ九月三十日ニ終ル會員ハ毎年通常會費トシテ金三圓ヲ納ムベシ但シ學生ハ毎年六拾錢トス

第二十條 毎年ノ會費ハ三回ニ分チ徵收ス

但シ一時ニ完納スルモ妨ナシ

第二十一條 懇親會ノ費用ハ幹事ノ見込ニヨリテ之ヲ徵シ又止ムヲ得ザル場合ニ於テハ本會ノ議決ニヨリ臨時費ヲ會員ヨリ徵スルコトアルベシ

第二十二條 一時ニ金三拾圓ヲ納ムル者ハ終身會員タルコトヲ得

但シ懇親會費及ヒ臨時費ハ別ニ之レヲ課スベシ

第二十三條 通常會費ハ本會ノ經費ニ供シ剩餘アレバ本會ノ基金トシテ積ミ立ツルモノトス

第二十四條 雜誌ニ關スル費用ハ別途勘定トス

第二十五條 雜誌ヨリ得タル利益ハ之ヲ折半シテ其一分ヲ本會基金トシ其他ヲ以テ投稿者及ヒ雜誌委員ノ報酬ニ供ス

但報酬ノ比例等ハ雜誌委員ノ議決ニ任ス

第二十六條 本會基金ハ總テ會計主任幹事ノ手ヲ經テ遞信省ニ預クルモノトス

第二十七條 雜誌ニ關スル別途計算ハ會計主任幹事ノ之ヲ掌ルモノトス

#### 第十章 會員ノ進退

第二十八條 凡入會者クハ退會セント欲スル者ハ直ニ幹事ニ申出ツベシ

第二十九條 第一種ニ屬スルモノ、入會ハ幹事限リ之ヲ承認シ第二種ニ屬スルモノ、入會ハ評議員之ヲ承認シ第三種ニ屬スルモノ會員ノ紹介ヲ以テ申込ムルキハ會員ノ無記名投票ニ付シ出席員十分ノ九以上ノ可決ヲ俟テ其入會ヲ承認ス退會ハ皆幹事限リ之ヲ承認ス

但評議員協議上會員ト爲スベキ人ト認メタル者ハ出席員ノ無記名投票ヲナシ十分ノ九以上ノ可決ヲ俟テ其入會ヲ請フコトアルベシ

第三十條 本會規則ハ會員中三人以上ノ贊成者ヲ得テ改正案ヲ提出シ出席會員十分ノ九以上ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ變更スルコトヲ得ス

明治廿一年十一月二日印刷

印刷者

東京橋區西船場町二十六番地留  
島連太郎